

令和2年度 当初予算の概要

じりき じりよく
～ 未来に向けた「地力と磁力」アップ ～



暮らし満足No.1のまち

中津市

【目次】

I. 令和2年度一般会計当初予算の概要	
1. 予算編成の基本方針	1
2. 予算総額	1
3. 主な歳入	2
4. 主要施策	2
5. 令和2年度一般会計当初予算の状況	3
(1)歳入	
(2)歳出	
6. 予算規模等の推移	6
II. 令和2年度指針別主要事業	
1. 安心づくり	10
2. 元気づくり	12
3. 未来づくり	15
III. 主要事業の詳細	
1. 災害に強いまち・災害に強い地域づくり	18
①【新規】WEB版ハザードマップ多言語化事業	
②【新規】防災情報LINE配信システム整備事業	
2. 中津市版地域包括ケアシステムの構築	19
①【新規】多職種連携支援事業	
3. みんなが子育てしたくなるまちづくり	20
①【新規】子育てと仕事の両立支援事業	
②【新規】子育て支援アプリ導入事業	
③【新規】放課後児童健全育成事業(県総合庁舎)	
④【新規】産後ケア事業	
⑤【新規】米山公園複合遊具設置事業	
4. 「安心」で繋ぐ地域づくり	22
①【新規】ひきこもりサポート事業	
②地域力強化推進行	
5. 若者や女性が働きたいまち	23
①テレワーク等推進事業	
②若年者就職支援事業	
6. 農林水産業における担い手育成と収益性向上	24
①【新規】農業サポーター人材バンク事業	
②【新規】水田畑地化露地野菜産地形成促進事業	
③【新規】畜産経営体衛生管理体制強化事業	
④【拡充】林業振興事業(森林環境譲与税)	
7. 山国川上下流域を結ぶ観光振興	26
①メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業	
②インバウンド対策事業	
8. 公民連携・政策連携によるにぎわいづくり	27
①【新規】立地適正化計画策定事業	
②商店街にぎわいづくり支援事業補助金	
9. 「ふれあい」「親しむ」文化・スポーツ環境	28
①【新規】国民文化祭レガシー事業	
②「発掘された日本列島展」開催	
③東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致事業	
④【新規】パラリンピック採火イベント	
10. 子どもの可能性を拓ける教育	30
①【新規】タイムレコーダー設置事業	
②【新規】校外活動支援事業	
③【拡充】部活動指導専門員配置事業	
④【拡充】スクールサポートスタッフ配置事業	
⑤【新規】社会科副読本「ふるさと学習教材(仮名)」作成事業	
⑥【新規】福澤諭吉検定事業	
11. 地域で活躍する人材の育成	32
①【新規】中津南高校耶馬溪校通学支援補助金	
②市民講座・小幡篤次郎調査研究	
12. 「環境共生都市なかつ」の推進	33
①【新規】ペットボトル単独回収事業	
②【新規】エコステーション貸出事業	
③【新規】市議会ICT化推進事業	
13. 行政サービス高度化・公共施設管理	34
①【新規】電子マネーでの公共料金支払	
②【新規】Net119システム整備事業	

I. 令和2年度一般会計当初予算の概要

中津市総務部財政課
令和2年2月19日

1. 予算編成の基本方針

- ① 「安心・元気・未来プラン2017」を着実に実行し、人や企業を惹きつける「磁力」を持ったまちとなるよう、さらなる施策の展開・深化を図る
- ② 「令和2年度中津市政推進の基本指針」を策定し、その方向性に基づく施策の立案
- ③ 「中津市行政サービス高度化プラン」に基づく事務事業の最適化
- ④ 「現場主義」、「EBPM(根拠に基づく政策立案)」、「持続可能な仕組みの構築」、「公民連携・協働・役割分担」の視点

2. 予算総額

幼保無償化に伴う児童措置費や障害福祉サービス等給付費をはじめとする障害福祉費など社会保障費の増のほか、「暮らし満足」の向上・発展に向けた新規施策を展開。

予算規模は前年度に比べ微減となったが、国1号補正等によるR1年度3月補正への普通建設事業前倒し分を含めると、実質的に前年度以上の事業費を確保している。

当初予算額 41,556百万円 (前年度比 △492百万円 △1.2%)

<参考> ㉗41,999 ㉘41,645 ㉙41,761 ㉚40,746 ㉛42,048

○人件費	7,674百万円	(前年度比 △10百万円 △0.1%)
○公債費	5,051百万円	(前年度比 △173百万円 △3.3%)
○扶助費	10,207百万円	(前年度比 +248百万円 +2.5%)

〔児童措置費	3,090百万円	(前年度比 +122百万円 +4.1%)
〔障害者福祉費	2,105百万円	(前年度比 +114百万円 +5.7%)

○普通建設事業費 4,706百万円 (前年度比 △729百万円 △13.4%)

〔補助事業費	1,633百万円	(前年度比 △449百万円 △21.6%)
〔単独事業費	2,688百万円	(前年度比 △246百万円 △8.4%)
〔国直轄・県営	385百万円	(前年度比 △34百万円 △8.1%)

3. 主な歳入

市税は、法人市民税の税率引き下げによる減はあるが順調な企業誘致などを反映し、ほぼ前年度並み。地方交付税は、合併特例措置が終了するものの、地方財政対策での増額見込み等により若干の増。臨時財政対策債は、地方財政対策における減額見込みを反映。

その結果、財政調整基金は前年度比△26.5%の994百万円の取崩しとなった。

○市	税	10,991百万円	(前年度比 △53百万円 △0.5%)
○地方譲与税等		2,663百万円	(前年度比 +284百万円 +11.9%)
○地方交付税		10,868百万円	(前年度比 +318百万円 +3.0%)
○臨時財政対策債		952百万円	(前年度比 △298百万円 △23.8%)
○財政調整基金繰入金		994百万円	(前年度比 △358百万円 △26.5%)

4. 主要施策

「安心・元気・未来プラン2017」を着実に実行し、「暮らし満足 No.1」に向けたさらなる施策の展開・深化を図るため「令和2年度中津市政推進の基本指針」を策定。その方向性に基づき、事業の新規立案及び拡充を行う。

令和2年度 中津市政推進の基本指針

【安心づくり】

- ・災害に強いまち・災害に強い地域づくり
- ・中津市版包括ケアシステムの構築
- ・データに基づく健康づくり
- ・広域的な予防医療の取り組み
- ・みんなが子育てしたくなるまちづくり
- ・誰もが生き生きと暮らせるまちづくり
- ・「安心」で繋ぐ地域づくり
- ・地域の拠点施設の確保

「暮らし満足」に向けたさらなる施策の展開・深化

【元気づくり】

- ・中小企業の人材確保と振興
- ・若者や女性が働きたいまち
- ・企業立地の促進と生産性向上への支援
- ・農林水産業における担い手育成と収益性向上
- ・山国川上下流域を結ぶ観光振興
- ・定住に向けた移住戦略
- ・公民連携・政策連携によるにぎわいづくり
- ・「ふれあい」「親しむ」文化・スポーツ環境

【未来づくり】

- ・子どもの可能性を拓く教育
- ・地域で活躍する人材の育成
- ・地域の拠点施設の確保(再掲)
- ・「環境共生都市なかつ」の推進
- ・「命」を守り「くらし」を支える交通網の整備
- ・公共交通対策の新たな枠組みの検討
- ・中心市街地における「学び」と「交流」を生むまちづくり

新規事業 : 31事業

拡充事業 : 23事業

安心づくり

新規	: 11事業
拡充	: 9事業

元気づくり

新規	: 8事業
拡充	: 3事業

未来づくり

新規	: 10事業
拡充	: 9事業

その他

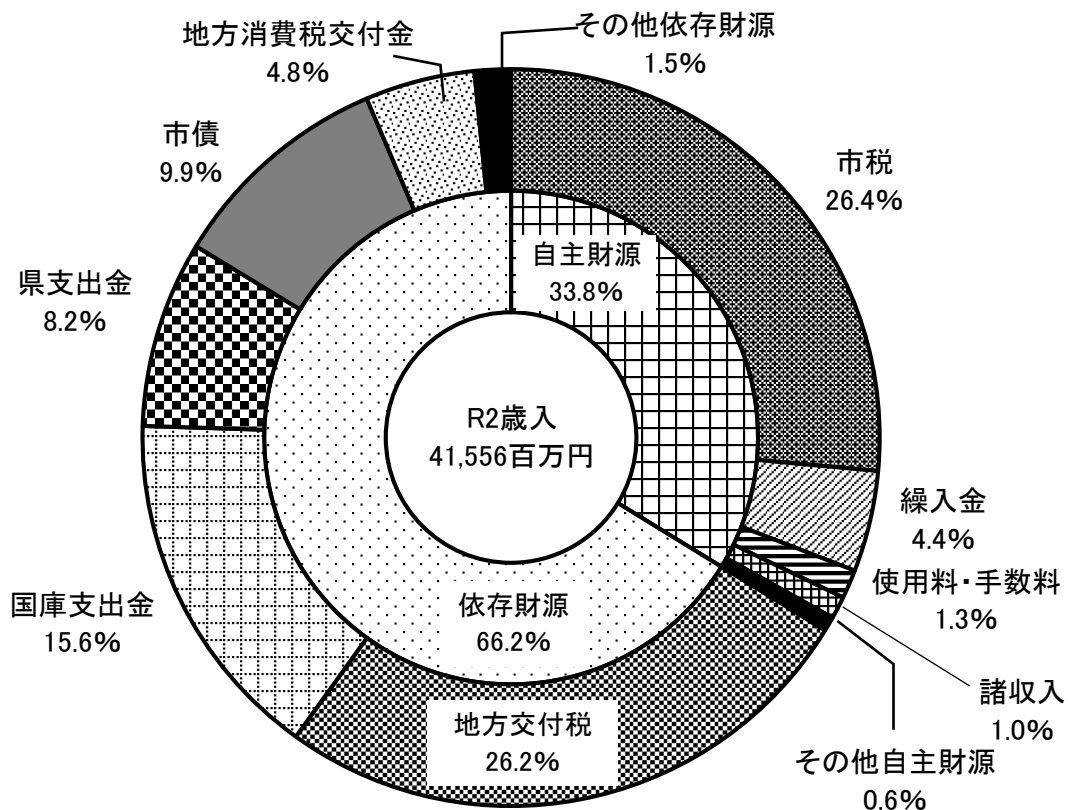
新規	: 2事業
拡充	: 2事業

5. 令和2年度一般会計当初予算の状況

(1) 歳入

(千円、%)

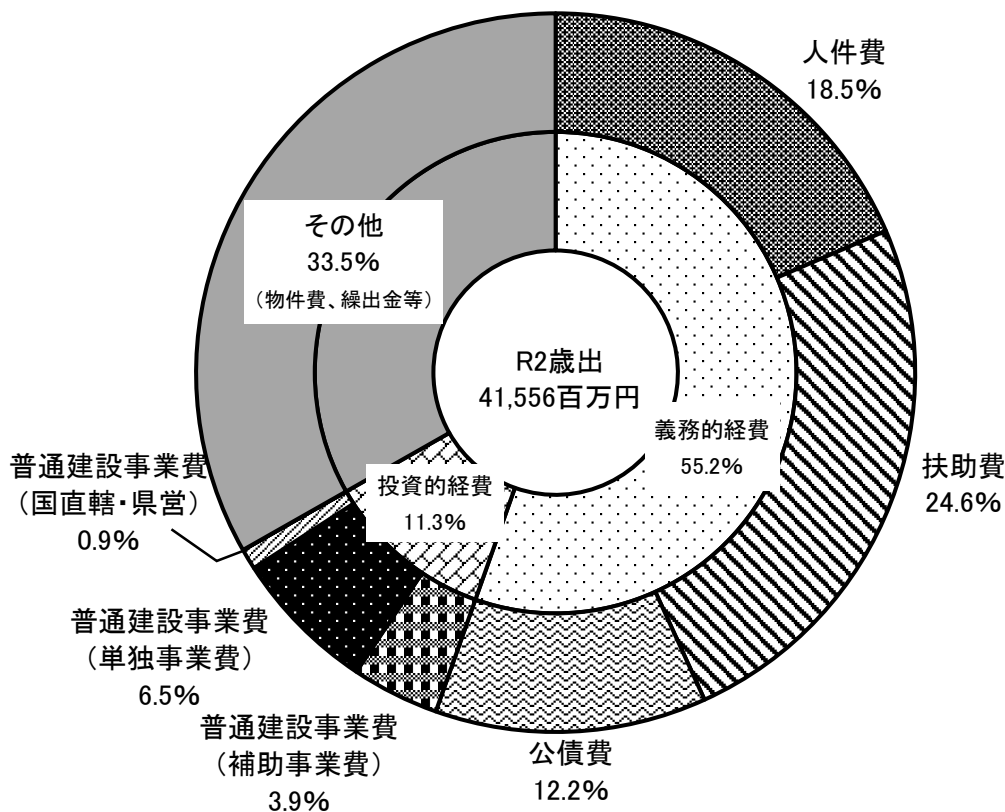
区 分	令和2年度		令和元年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)	
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比			
自主財源	市税	10,990,526	26.4	11,043,792	26.3	△ 53,266	△ 0.5
	分担金及び負担金	96,174	0.2	166,197	0.4	△ 70,023	△ 42.1
	使用料及び手数料	524,857	1.3	589,837	1.4	△ 64,980	△ 11.0
	財産収入	83,389	0.2	67,377	0.2	16,012	23.8
	寄附金	83,303	0.2	103,302	0.2	△ 19,999	△ 19.4
	繰入金	1,844,519	4.4	2,502,018	6.0	△ 657,499	△ 26.3
	繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	諸収入	410,459	1.0	514,566	1.2	△ 104,107	△ 20.2
	小 計	14,033,228	33.8	14,987,090	35.6	△ 953,862	△ 6.4
依存財源	地方譲与税	371,792	0.9	333,439	0.8	38,353	11.5
	利子割交付金	6,736	0.0	11,881	0.0	△ 5,145	△ 43.3
	配当割交付金	31,506	0.1	35,004	0.1	△ 3,498	△ 10.0
	株式等譲渡所得割交付金	15,114	0.0	27,580	0.1	△ 12,466	△ 45.2
	法人事業税交付金	113,127	0.3	0	0.0	113,127	皆増
	地方消費税交付金	2,001,930	4.8	1,690,203	4.0	311,727	18.4
	ゴルフ場利用税交付金	7,141	0.0	7,310	0.0	△ 169	△ 2.3
	自動車取得税交付金	0	0.0	31,242	0.1	△ 31,242	皆減
	自動税環境性能割交付金	20,026	0.0	13,743	0.0	6,283	45.7
	地方特例交付金	80,652	0.2	213,483	0.5	△ 132,831	△ 62.2
	地方交付税	10,868,390	26.2	10,550,000	25.1	318,390	3.0
	交通安全対策特別交付金	14,671	0.0	14,671	0.0	0	0.0
	国庫支出金	6,475,290	15.6	6,343,544	15.1	131,746	2.1
	県支出金	3,401,350	8.2	3,367,412	8.0	33,938	1.0
	市債	4,115,400	9.9	4,421,000	10.5	△ 305,600	△ 6.9
小 計	27,523,125	66.2	27,060,512	64.4	462,613	1.7	
合 計	41,556,353	100.0	42,047,602	100.0	△ 491,249	△ 1.2	



(2) 歳出
 <性質別>

(千円、%)

区 分	令和2年度		令和元年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
義務的経費	22,932,712	55.2	22,866,556	54.4	66,156	0.3
人件費	7,674,421	18.5	7,684,463	18.3	△ 10,042	△ 0.1
扶助費 ^(※1)	10,206,875	24.6	9,958,300	23.7	248,575	2.5
公債費	5,051,416	12.2	5,223,793	12.4	△ 172,377	△ 3.3
投資的経費	4,708,901	11.3	5,434,634	12.9	△ 725,733	△ 13.4
普通建設事業費 ^(※2)	4,705,697	11.3	5,434,630	12.9	△ 728,933	△ 13.4
補助事業費	1,632,529	3.9	2,081,655	5.0	△ 449,126	△ 21.6
単独事業費	2,687,828	6.5	2,933,721	7.0	△ 245,893	△ 8.4
国直轄・県営事業	385,340	0.9	419,254	1.0	△ 33,914	△ 8.1
災害復旧事業費	3,204	0.0	4	0.0	3,200	80,000.0
その他	13,914,740	33.5	13,746,412	32.7	168,328	1.2
合 計	41,556,353	100.0	42,047,602	100.0	△ 491,249	△ 1.2



※1 扶助費の主な増減

(千円) ※2 普通建設事業費の主な増減

(千円)

事業名	R2予算額	対前年
私立保育所・認定こども園等運営費	2,995,023	78,074
子育てのための施設等利用給付費	43,010	43,010
障害福祉サービス等給付費	1,859,088	124,420
障害児通所給付費	244,984	64,868

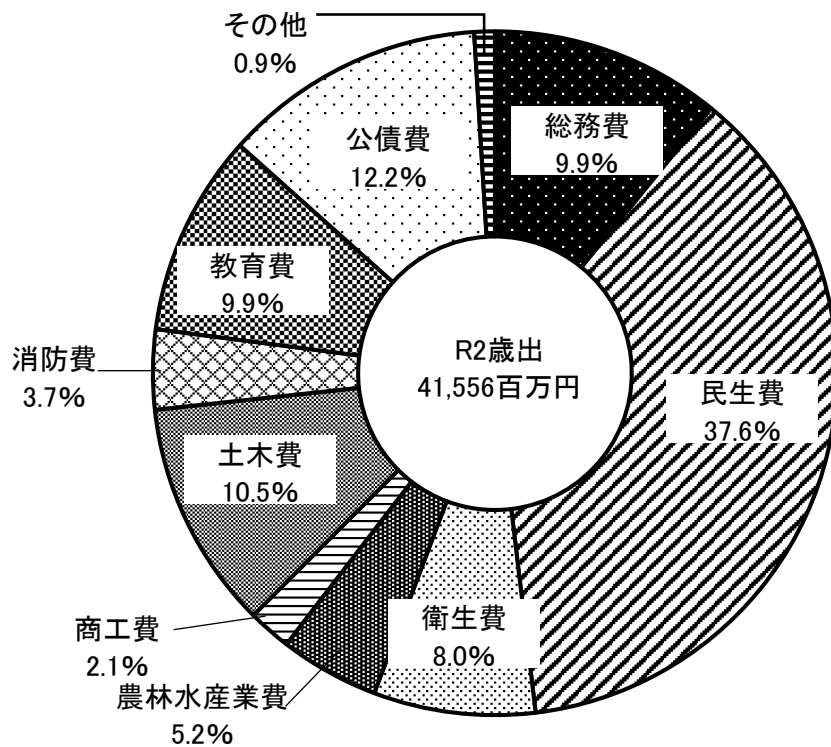
事業名	R2予算額	対前年
補 助 事 業		
保育所・認定こども園施設整備事業	0	△ 353,401
鶴居小学校施設長寿命化事業	0	△ 128,300
豊陽中学校施設大規模改造事業	0	△ 122,411
緑ヶ丘中学校校舎増築事業	279,541	232,367
永添運動公園整備事業	54,300	△ 189,800
単 独 事 業		
防災監視カメラ設置事業	0	△ 257,000
ごみ処理施設整備事業(クリーンプラザ)	129,282	129,282
三光公民館整備事業	211,015	202,679
和田コミュニティセンター建設事業	0	△ 269,258

(2)歳出

<目的別>

(千円、%)

区 分	令和2年度		令和元年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
1. 議会費	270,115	0.6	274,723	0.7	△ 4,608	△ 1.7
2. 総務費(※1)	4,124,643	9.9	4,579,326	10.9	△ 454,683	△ 9.9
3. 民生費	15,623,642	37.6	15,644,817	37.2	△ 21,175	△ 0.1
4. 衛生費	3,306,486	8.0	3,212,392	7.6	94,094	2.9
5. 労働費	35,026	0.1	34,671	0.1	355	1.0
6. 農林水産業費(※2)	2,144,193	5.2	1,974,776	4.7	169,417	8.6
7. 商工費	872,738	2.1	859,439	2.0	13,299	1.5
8. 土木費(※3)	4,370,849	10.5	4,546,199	10.8	△ 175,350	△ 3.9
9. 消防費	1,555,421	3.7	1,585,450	3.8	△ 30,029	△ 1.9
10. 教育費(※4)	4,098,489	9.9	4,011,874	9.5	86,615	2.2
11. 災害復旧費	3,204	0.0	4	0.0	3,200	80,000.0
12. 公債費	5,051,545	12.2	5,223,929	12.4	△ 172,384	△ 3.3
13. 諸支出金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
14. 予備費	100,000	0.2	100,000	0.2	0	0.0
合 計	41,556,353	100.0	42,047,602	100.0	△ 491,249	△ 1.2



※1 総務費の主な増減

(千円)

事業名	R2予算額	対前年
公共施設等整備基金積立金	489	△ 117,915
選挙事業(知事県議会、市議会、参議院、市長)	0	△ 177,181
本庁舎整備事業	0	△ 40,989

※3 土木費の主な増減

(千円)

事業名	R2予算額	対前年
道路橋りょう新設改良費	433,885	54,517
道路橋りょう新設改良費(社会資本整備事業)	406,045	△ 74,985
永添運動公園整備事業	54,300	△ 189,800

※2 農林水産業費の主な増減

(千円)

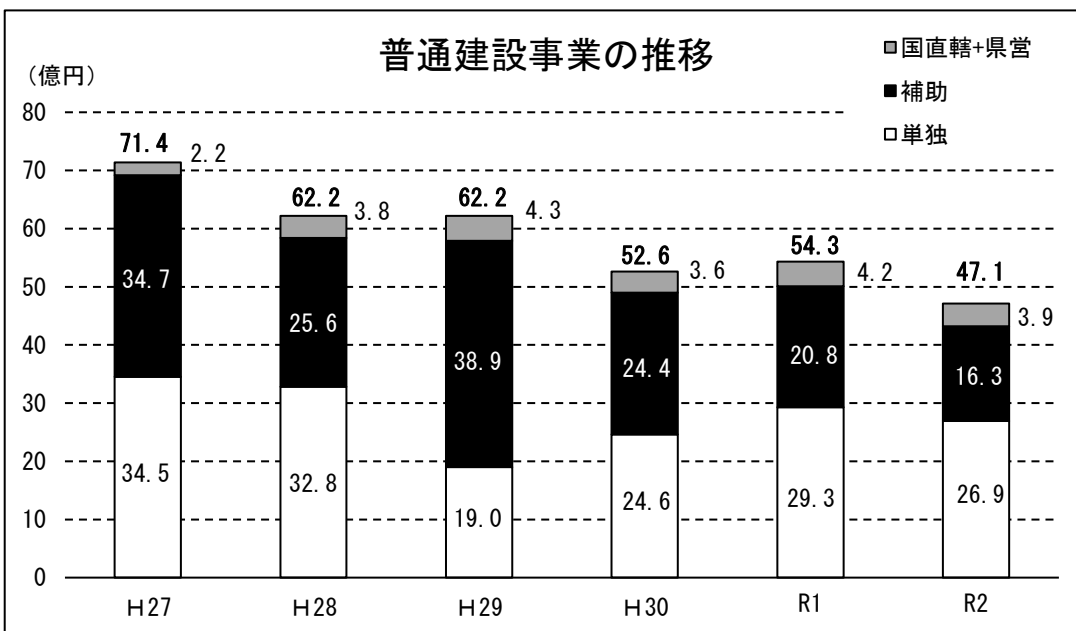
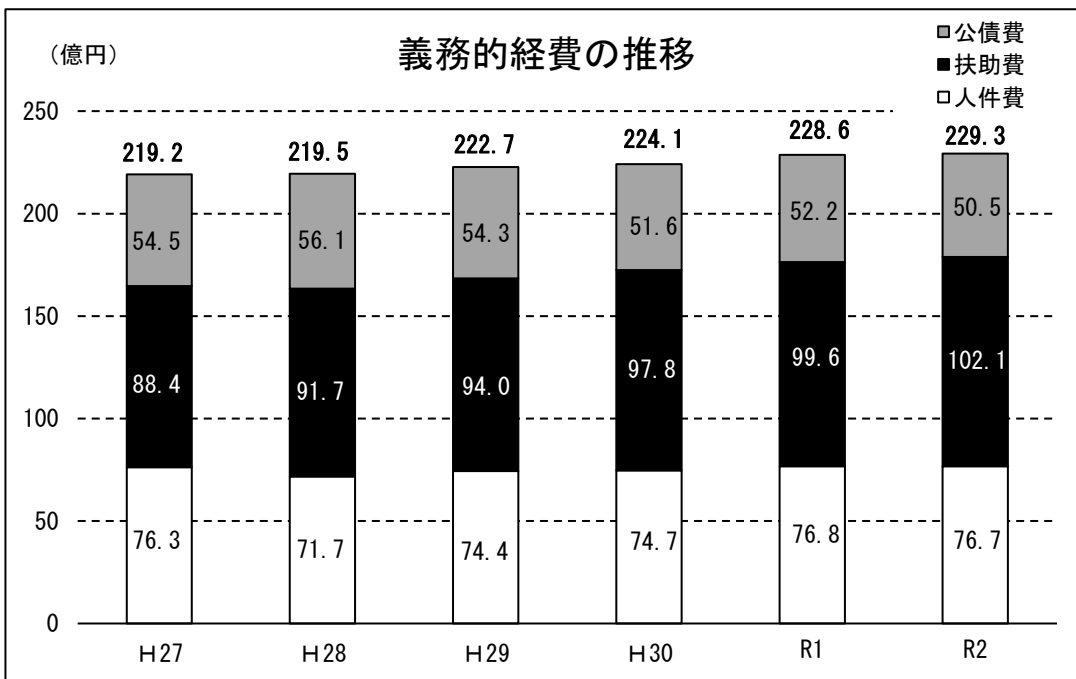
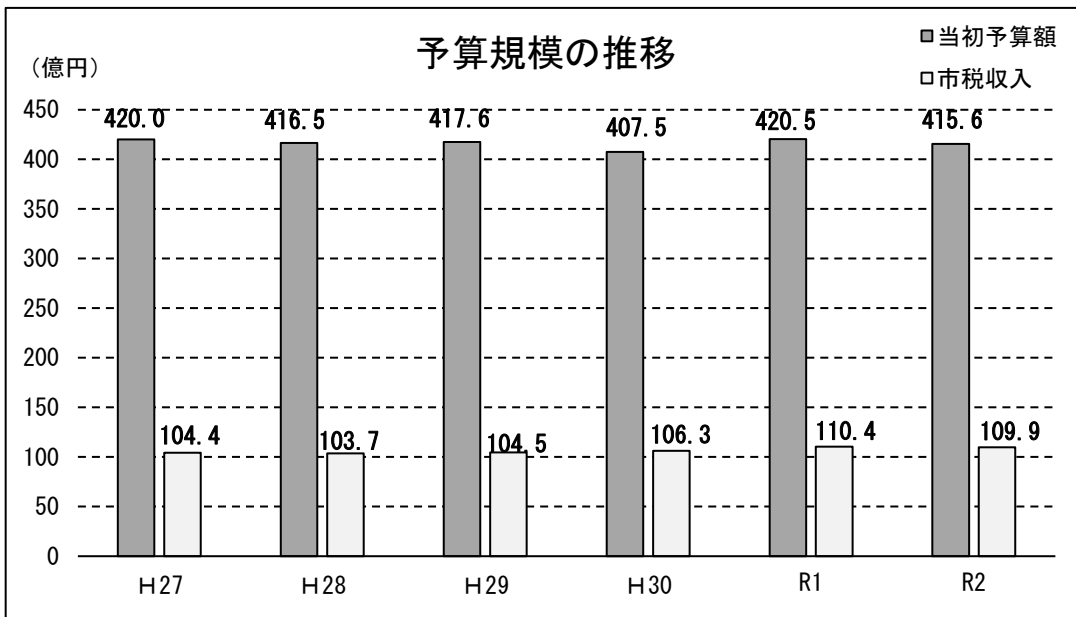
事業名	R2予算額	対前年
林業振興事業(森林環境譲与税)	37,124	37,124
林道整備事業	43,000	43,000
漁港事業	216,975	73,411

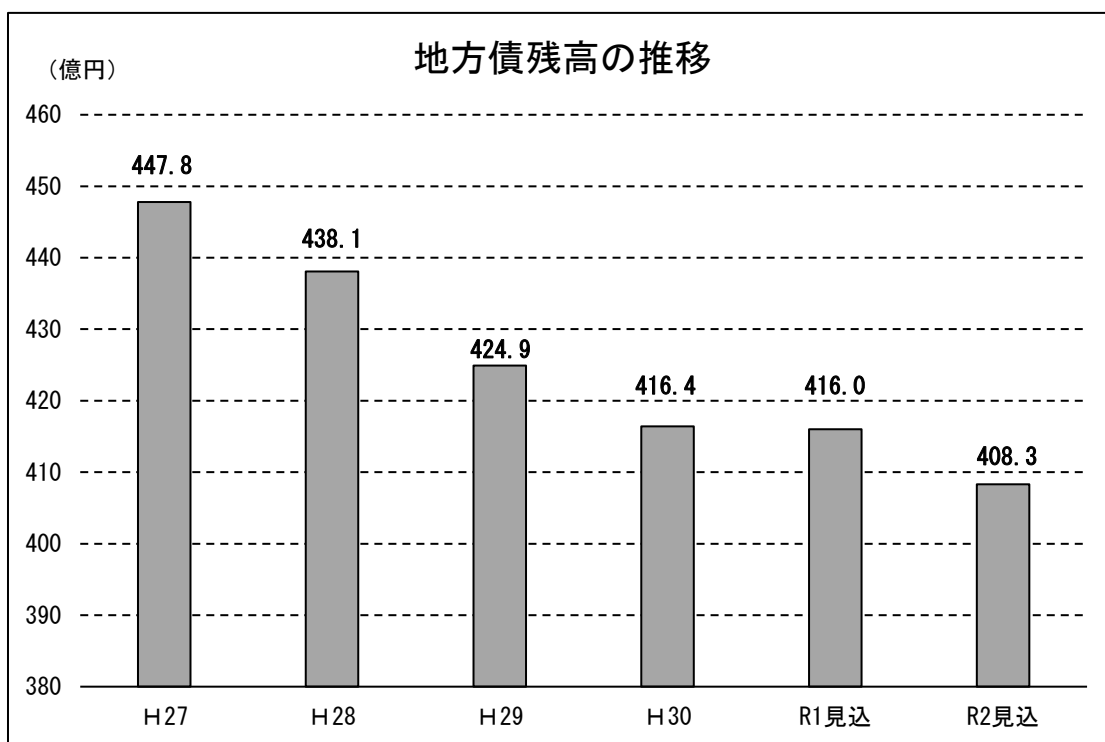
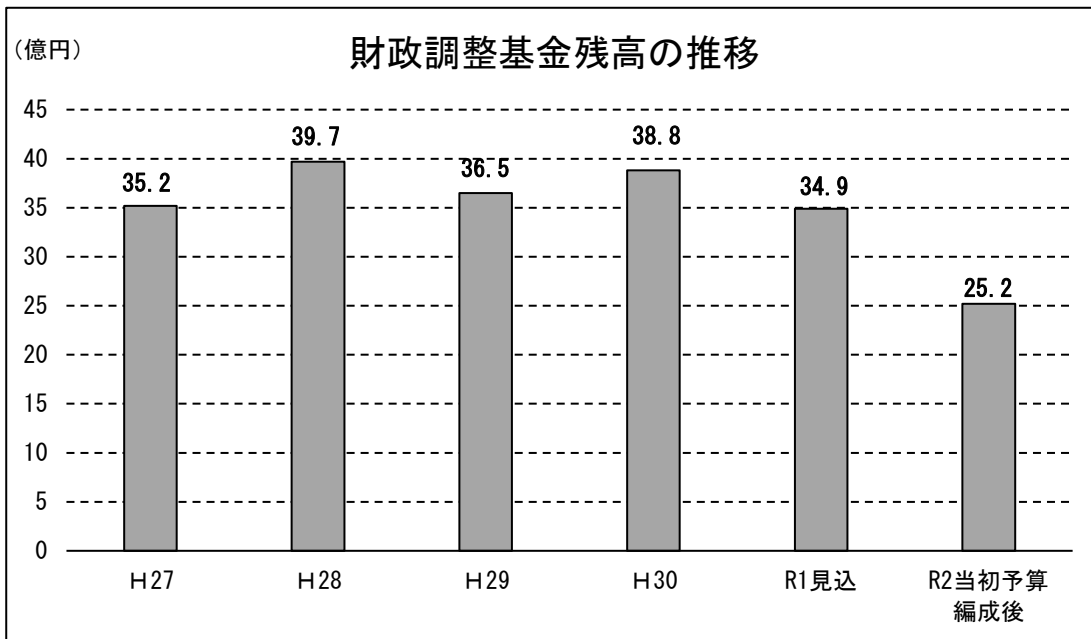
※4 教育費の主な増減

(千円)

事業名	R2予算額	対前年
小学校管理事業(教科書改訂)	59,423	59,423
緑ヶ丘中学校校舎増築事業	287,690	233,644
和田コミュニティセンター(仮称)建設事業	4,911	△ 264,347

6. 予算規模等の推移





※ R1年度及び2年度の地方債残高については、予算額ベースの残高であるため、決算額(実際の残高)は標記の数値から減少する見込みです。

Ⅱ.令和2年度指針別主要事業

令和2年度 指針別主要事業

人口減少を乗り越えるしなやかさ、災害に対する強靭さ、ふるさとを支える人材など、まちの「地力（じりき）」を養うとともに、圏域の拠点として人や企業を惹き付ける「磁力（じりよく）」を高めていくことを目指し、令和2年度の当初予算を～ 未来に向けた「地力と磁力」アップ～ をテーマにまとめました。

安心づくり

新 新規施策 **拡** 拡充施策
アンダーライン施策は個別資料あり

◆ 災害に強いまち・災害に強い地域づくり

- 新** 国土強靭化地域計画策定〔2万円〕
- 拡** WEB版ハザードマップの多言語化〔107万円〕
 - 避難所機能強化〔355万円〕
 - ▶ スポットクーラー、パーテーション、アルミベッド配置
- 新** 備蓄非常食のハラール対応〔106万円〕
- 拡** 防災情報LINE配信システム〔72万円〕
 - 牛神・湯屋雨水幹線整備【下水道事業】〔1,200万円〕
- 新** 角木雨水ポンプ場整備【下水道事業】〔6,800万円〕



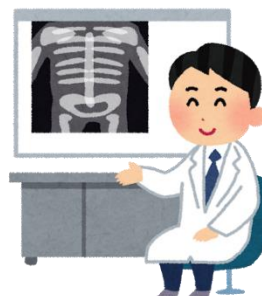
避難所パーテーション（イメージ）

◆ 中津市版地域包括ケアシステムの構築

- 新** 在宅医療・介護の多職種連携事業【介護特会】〔145万円〕
 - ▶ ケアマネージャー、ヘルパー、訪問看護師等が、医療・介護サービスの対象者の心身の状況を共有するシステムを試験運用する
- 拡** 生活支援体制整備【介護特会】〔1,846万円〕
 - ▶ 地域住民主体の生活支援・介護予防サービスの充実を図るため、組織作りを支援するコーディネーターを地域ごとに順次配置

◆ データに基づく健康づくり

- 拡** 成人保健対策事業〔8,723万円〕
 - ▶ 各種健診について、休日健診の拡大、問診票事前送付、医療機関との連携、対象者の特性に応じた勧奨など、受診率向上を図る
- 新** 被保護者のレセプト・健診データ分析〔106万円〕
- 新** 食育推進計画アンケート調査〔111万円〕



◆ 広域的な予防医療の取り組み

- ④ 成人男性の風疹対策〔1,530万円〕
 - 子どもの予防接種（インフルエンザ、ロタ、おたふく）〔3,506万円〕
- ④ フッ化物洗口事業〔294万円〕

◆ みんなが子育てしたくなるまちづくり 【子育て2020（フレ－フレ－）プロジェクト】

- ① 産後ケア〔869万円〕
 - 不安や負担を抱える産婦に対し、産科医療機関等において出産後のサポートを行う
- ④ ママパクラス〔17万円〕
 - 子ども医療費助成〔3億5,641万円〕
- ① 子育て支援アプリ導入〔33万円〕
- ① 子育てと仕事の両立支援助成〔100万円〕
 - 「子の看護休暇制度」を導入し、かつ実際に従業者が取得した中小企業に対し支援金を支給
- 私立保育所等運営事業〔30億7,708万円〕
- 子育てのための施設等利用費給付事業〔4,301万円〕
- 一時預かり事業〔4,066万円〕
- 延長保育事業〔1,947万円〕
- 中津にこここ保育支援事業〔2,016万円〕
- 病児保育、病後児保育事業〔2,412万円〕
- 中津こども園事業（幼稚園での預かり保育）〔4,210万円〕
- ① 放課後児童健全育成事業（県総合庁舎分）〔869万円〕
 - 大分県中津総合庁舎を賃借し、児童クラブの待機児童対策を実施
- 子育てほっとクーポン活用事業〔1,078万円〕
- 多子世帯に対する児童クラブ費用助成〔558万円〕
- 子どもいきいきプレイルーム運営事業〔2,294万円〕
- 村上記念童心館運営事業〔1,410万円〕
- ① 米山公園複合遊具整備〔1,400万円〕
 - 未就学児対象の複合遊具やストレッチ運動が可能な健康器具などを2か年で整備（総事業費3,500万円）



ママパクラス



放課後児童クラブ



病児保育施設



複合遊具（写真はダイハツ九州スポーツパーク大貞）

◆ 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

- 障害児保育給付事業〔526万円〕
 - 特別な支援を要する子どもを受け入れている保育所等に対する給付費について、補助基準額の増額及び補助要件の緩和を行う
- 手話・要約筆記・音訳講習会開催〔168万円〕
- ピアサポート活動支援〔37万円〕
- 子ども・事業所向け手話教室〔14万円〕
- 元気！いきいき☆週一体操教室【介護特会】〔1,020万円〕
 - 教室の継続支援のため、講師派遣回数を増加



週一体操教室

◆ 「安心」で繋ぐ地域づくり

- 小規模集落等支援事業補助〔634万円〕
 - 耶馬溪樋山路地区が行う集落の維持・移住促進の取り組み等を支援
- 田舎困りごとサポート〔162万円〕
- 買い物支援事業〔1,475万円〕
 - 山国地区みんなのお店運営及び移動販売
 - 耶馬溪地区における移動販売・宅配
- ひきこもりサポート事業〔298万円〕
- 地域力強化推進事業〔1,127万円〕



移動販売

◆ 地域の拠点施設の確保

- 三光公民館整備〔2億1,102万円〕
- 西谷地区公民館整備〔5,500万円〕



田舎困りごとサポート

元気づくり

◆ 中小企業の人材確保と振興

- 外国人労働者受け入れ支援事業〔29万円〕
- 有資格者人材バンク〔332万円〕
- 企業合同就職説明会等の開催〔248万円〕
- 勤労者資格取得支援事業〔50万円〕



事業所向けベトナム語教室

◆ 若者や女性が働きたいまち

- テレワーク等推進事業〔266万円〕
- 創業セミナー、女性起業家支援〔183万円〕
- 若年者就職支援〔306万円〕



女性起業家セミナー

◆ 企業立地の促進と生産性向上への支援

- 企業立地促進助成金〔2億9,184万円〕
- 新** • 映画館施設整備補助〔3,500万円〕
- 中山間地域創業支援補助〔300万円〕
- 新** • 木質バイオマス施設整備補助〔4,245万円〕



建設中の映画館（完成イメージ）

◆ 農林水産業における担い手育成と収益性向上

- 新** • 農業サポーター人材バンク〔240万円〕
 - 農業における労働力不足を補うため、未経験者も安心して登録できる人材バンクを創設
- 新** • 水田畑地化露地野菜産地形成促進事業〔450万円〕
- 拡** • 林業振興事業（森林環境譲与税）〔3,712万円〕
- 新** • 水産物流通特別対策補助〔3,000万円〕
 - 水産物の流通体制確保のため、魚市場再開を支援
- 新** • 畜産経営体衛生管理体制強化補助〔200万円〕
 - 家畜伝染病予防のための施設整備費を助成
- 一次産業振興地域おこし協力隊〔1,907万円〕
- 担い手確保支援事業費補助〔516万円〕
- やまくに堆肥センター車両整備〔885万円〕
- 担い手育成総合支援推進事業〔379万円〕
- 6次産業創生推進事業〔1,415万円〕
- （再掲）木質バイオマス施設整備補助〔4,245万円〕



森林環境譲与税を活用した
林業担い手育成研修



一次産業振興地域おこし協力隊

◆ 山国川上下流域を結ぶ観光振興

- メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業〔647万円〕
 - サイクリングイベント、広域サイクリングマップ作成等
- インバウンド対策事業〔635万円〕
 - 多言語パンフレット作成、パワーブロガー招聘、地域通訳案内士養成講座等
- 耶馬トピア駐車場整備〔1億85万円〕
- ④ • 洞門キャンプ場整備〔1,184万円〕
- 猿飛千壺峡整備事業〔565万円〕
- 日本遺産推進事業〔350万円〕
- 深耶馬溪活性化事業〔45万円〕
 - 地元商店会、大分大学、市が連携し、活性化に向けたフィールドワーク等を行う



サイクリングイベント

◆ 定住に向けた移住戦略

- 移住・定住支援事業〔1,073万円〕
- ④ • 空き家改修等補助〔600万円〕
 - 改修だけでなく「建替」の場合も補助対象に拡充



商店街にぎわいづくりイベント

◆ 公民連携・政策連携によるにぎわいづくり

- ① • 立地適正化計画策定〔1,467万円〕
- 商店街にぎわいづくり支援補助〔150万円〕
- (再掲) 子どもいきいきプレイルーム運営事業〔2,294万円〕

◆ 「ふれあい」「親しむ」文化・スポーツ環境

- ① • 国民文化祭レガシー事業〔374万円〕
- なかはく「発掘された日本列島展」〔856万円〕
- オリンピック・パラリンピック合宿誘致〔788万円〕
- ① • パラリンピック採火イベント〔15万円〕
- 耶馬溪アクアパーク整備〔1,400万円〕
- コアやまくにスケート場整備〔3,323万円〕
- (再掲) 日本遺産推進事業〔350万円〕



国民文化祭のレガシーを継ぐ文化事業を予定（写真は一昨年の様子）

未来づくり

◆ 子どもの可能性を広げる教育

- 新・ 教員働き方改革（タイムレコーダー設置）〔608万円〕
- 新・ 校外活動支援〔691万円〕
 - ▶ 小学校の社会見学等の際のバス借上費用
- ・ 学習補助員、教育補助員の配置〔1億1,273万円〕
- 拡・ 部活動指導専門員の配置〔459万円〕
- 拡・ スクールサポートスタッフの配置〔646万円〕
- 拡・ 学びのススメ土曜塾〔454万円〕
- ・ ふるさと学習の充実〔347万円〕
 - 新 ▶ 小学校3～6年生向け、社会科副読本の作成
 - 新 ▶ 中学生を対象とした福澤諭吉検定を実施
 - ▶ 子どもまちづくりラボ
- ・ 図書活動推進事業〔5,437万円〕



小・中・幼稚園にタイムカード設置



ふるさと学習

◆ 地域で活躍する人材の育成

- 新・ 中津南高校耶馬溪校通学支援〔475万円〕
 - ▶ 耶馬溪校への通学費（バス代）を助成
- ・ 職人フェスティバル〔50万円〕
- ・ 新中津市学校での市民講座・調査研究〔306万円〕



職人フェスティバル

◆ 「環境共生都市なかつ」の推進

- ・ 一般廃棄物収集運搬業務〔1億8,352万円〕
 - 新 ▶ 8月よりペットボトルの単独回収を開始
- 新・ イベント貸し出し用エコステーション〔60万円〕
- 新・ クリーンプラザ長寿命化〔1億214万円〕
- ・ 希少生物保護のための環境調査〔185万円〕
- 新・ 市議会ICT化推進事業〔431万円〕
 - ▶ 議会運営の効率化、資料のペーパーレス化に向けたタブレット端末導入
- ・ （再掲）林業振興事業（森林環境譲与税）〔3,712万円〕



貸し出し用エコステーション

◆ 「命」を守り「暮らし」を支える交通網の整備

- ④ 通学児童の安全確保に主眼を置いた道路整備〔2,010万円〕
 - 下池永西大新田線道路改良事業〔4,310万円〕
 - 宮永角木線街路事業〔1億9,750万円〕
 - 庄屋村線（記念橋）橋りょう整備事業〔2,000万円〕



通学路整備（グリーンベルト）

◆ 公共交通対策の新たな枠組みの検討

- ④ コミュニティバス運行事業〔5,963万円〕
 - 「豊前・中津線」を吉富町経由に変更
 - 深水乗り合いタクシー試験運行
 - 本耶馬溪町「西谷東谷コース」試験運行

◆ 中心市街地における「学び」と「交流」を生むまちづくり

- 中津市歴史博物館管理事業〔5,327万円〕
- 新中津市学校管理事業〔1,443万円〕
- （再掲）村上記念童心館運営事業〔1,410万円〕



新中津市学校の市民講座

行政サービス高度化・公共施設管理

◆ ICT活用による市民サービスの向上

- ① 公共料金支払いにキャッシュレス決済を追加
 - 4月よりスマホアプリを使った「PayPay」「PayB」による支払いが可能に
- ④ マイナンバーカード普及促進（会計年度任用職員7名配置）〔1,086万円〕
- ① 「Net119」システム整備（音声によらない119番通報）〔50万円〕
 - （再掲）子育て支援アプリ導入〔33万円〕
 - （再掲）在宅医療・介護の多職種連携事業【介護特会】〔145万円〕

◆ 効率的・効果的な公共施設マネジメント

- 公民連携による施設整備
 - 洞門キャンプ場改修において、「設計」「建設」「運営」を一括発注する「DBO方式」に類似した手法を採用
- 劣化診断等客観的指標に基く投資的経費の平準化



洞門キャンプ場

Ⅲ. 主要事業の詳細

近年の災害は、頻発化・被害の甚大化の傾向にあり、中津市においても毎年のように様々な災害が発生しています。

このような災害に対し、住民による自助の取り組みを進めるとともに、「災害は起こる」ことを前提とした防災対策を強化し、住民への更なる啓発や情報伝達手段の多重化を進めるため、令和2年度は新たに以下の事業に取り組みます。

①【新規】WEB版ハザードマップ多言語化事業 【防災危機管理課】

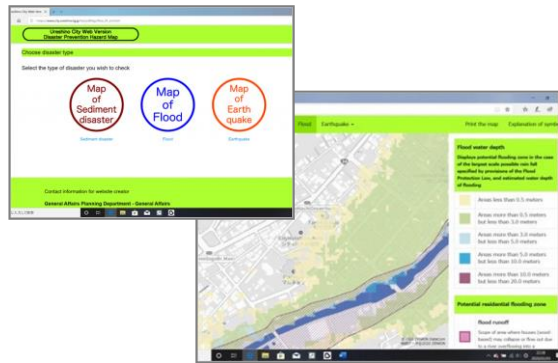
(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,067						

【事業の概要】

令和2年3月末に紙版の防災マップ(多言語対応)及びWEB版の防災マップ(日本語のみ)が完成予定です。このデータを基に、多言語化したWEB版防災マップを作成します。

＜対応言語＞
日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)



【期待される効果】

スマートフォン等でも気軽に防災マップを確認できるようになることから、日本人だけでなく市内に居住する外国人の方々の防災意識の啓発を図ることができます。

また観光等で訪れる外国人観光客に対しては、実際に災害が起きた際の避難に必要な情報としての活用も期待されます。

(イメージ図 ※ 画像提供:佐賀県嬉野市)

②【新規】防災情報LINE配信システム整備事業 【防災危機管理課】

(単位:千円)

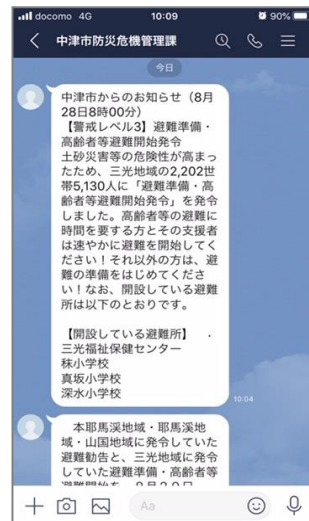
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
715						

【事業の概要】

現在、なかつメールの登録者に防災情報等を一齐配信していますが、多くの人々が利用しているLINEアプリを活用し防災情報等を一齐配信できるよう、配信システムの改修を行います。

【期待される効果】

若い世代を中心に幅広い世代で多く利用されているLINEアプリにより防災情報等を一齐配信することで、課題となっていた、若い世代の防災意識の向上に繋がるとともに、情報発信の多重化が図られます。



(イメージ図)

「住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送りたい」という高齢者のニーズに答えるためには、医療や介護といった多職種が連携した、在宅高齢者の重症化予防を踏まえた最適な支援が必要です。

その支援の一環として、中津市在宅医療・介護連携推進協議会では、医療と介護の情報共有ツール「トータルケアアセスメントシート(TCA※)」の作成に取り組み、3年をかけてこの度ようやく完成しました。

今後、このツールの試験運用を行い改良を重ね、多職種の連携をより深めた最適な支援が可能になることを期待しています。

※TCA:在宅高齢者の生活状況、心身状況等を把握して、課題を分析、さらにその解決の方向性までを考えると一連の流れを、多職種により把握・共有・検討できるツール。

【新規】多職種連携支援事業

【介護長寿課】

(単位:千円)

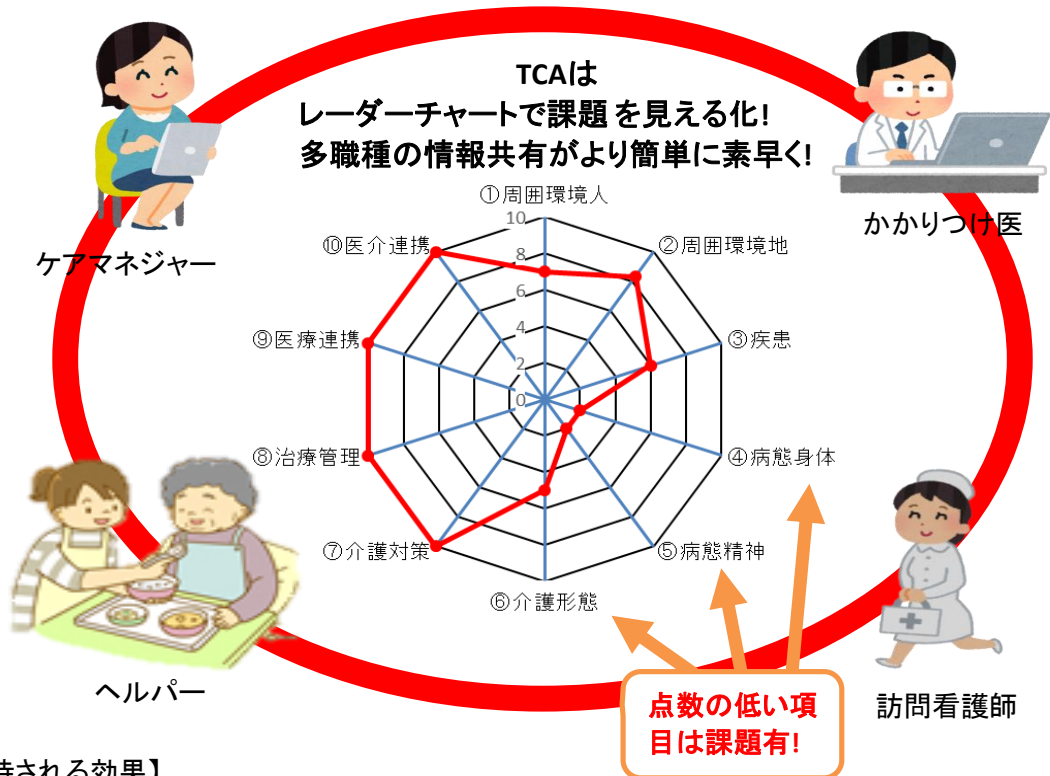
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,452		1,452				0

【事業の概要】

地域包括支援センターが圏域内の多職種(訪問看護師・ケアマネジャー・ヘルパー等)にタブレットを貸与し、医療・介護連携SNSの無料アプリ(MCS)を活用し、TCAで情報共有を行います(在宅高齢者一人につき3ヶ月間)。必要に応じて医療機関等から指示をもらい、10事例程度を試験運用する見込。

【主な事業費】

- ・多職種連携支援事業委託料 1,452千円
(貸与するタブレットの機種代や通信料等) 委託先:地域包括支援センター5か所



【期待される効果】

通常、在宅高齢者を支援している多職種は、紙面・対面・電話等で情報共有しており、情報伝達のタイムラグや詳細な情報が得られないといった課題があります。今回試行するTCAによる連携は、費用や時間が削減され、写真などの詳細な情報も共有可能のため、他の職種の意見も反映させた対応を素早的確に行えるようになります。

中津市は「子育て満足度が高いまち中津」「女性が働きやすく、活躍できるまち中津」の実現に向けて、子どもの発達段階や家庭状況に応じた子育て支援施策に取り組んできました。

そうした中で、核家族や共働き家庭に加え、ひとり親家庭など家族形態の多様化が進み、不安や負担を抱える子育て世帯の増加から、市や地域と子育て世帯をつなぐ環境づくりとして、新たに「子育て2020(フレアフレ)プロジェクト」と題し、関連施策をパッケージ化してソフト・ハードの両面から子育て支援の充実を進めていきます。

令和2年度では、特に以下の事業について積極的に取り組みます。

①【新規】子育てと仕事の両立支援事業 【子育て支援課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,000		(地方創生推進交付金充当予定)				1,000

【事業の概要】

令和元年度より大分県が「育児短時間勤務」の普及を支援する取り組みを開始したことに応じ、令和2年度より中津市は中小企業への「子の看護休暇」制度導入支援を行い、仕事をしながら子育てしやすい環境づくりに取り組みます。

【主な事業費】

・子育てと仕事の両立支援助成金 1事業所につき、上限10万円×10社

	大 分 県	中 津 市
普及内容	育児短時間勤務 (3歳未満の子どもを養育する労働者が、1日の所定労働時間を原則6時間とすることが出来る制度)	子の看護休暇 (就学前の子どもを養育する労働者が、1年を通じて5日以内で、病気・怪我をした子の看護等のため休暇を取得できる制度)
支給対象	・本社が大分県内 ・常用雇用者数が100人未満の企業	・本社が中津市内 ・常用雇用者数が50人未満の企業
支給条件	・就業規則等に育児短時間勤務の規定を設けていること。 ・従業員が育児短時間勤務を6ヵ月以上取得すること。(過去3年間に取得実績がない場合に限る。) ・おおいたイクボス宣言を行っていること。	・新たに就業規則に有給休暇の規定を設け労働基準監督署に届出ること。 ・2年以内に従業員が子どものために看護休暇を取得すること。
助成内容	交付額: 30万円 (1事業所につき1回限り)	交付額: 上限10万円 うち、導入事務経費 5万円 有給休暇付与補填 5万円

②【新規】子育て支援アプリ導入事業 【子育て支援課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
330						330

【事業の概要】

スマートフォンの普及に伴い、ICTを活用した新たな子育て支援策として、令和2年度より子育て支援アプリを導入します。

妊産婦と子どもの健康データ記録や管理、予防接種のスケジュール管理など母子健康手帳としての機能を備えるほか、従来ホームページで発信していた地域の子育て情報もスマホで受け取ることができ、子育て世代が安心して出産・子育てができる環境づくりを進めていきます。

③【新規】放課後児童健全育成事業(県総合庁舎)**【子育て支援課】**

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
8,691			2,032	2,032		1,100

【事業の概要】

令和2年度に放課後児童クラブの待機児童が発生する見込みの市中心部において、県有施設(中津総合庁舎附属棟)を活用し、臨時的に放課後児童クラブを開設します。

また、近年急増するニーズに応じ、夏季休業期間限定の児童クラブも同施設を活用して実施することで、共働き世帯の支援や子どもたちへの適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図ります。

●**放課後児童クラブ運営事業** (事業費:7,446千円、補助率:国1/3、県1/3)

- ・中津市総合庁舎附属棟使用料(8割減免) 1,261千円
- ・施設管理費(光熱水費、清掃料、警備料等) 1,812千円
- ・子育て支援員報酬(4人) 3,462千円 ほか

●**長期休業限定児童クラブ運営事業** (事業費:1,245千円、補助率:国1/3、県1/3)

- ・(夏季)長期休業児童クラブ運営委託料 1,245千円

④【新規】産後ケア事業**【地域医療対策課】**

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
8,690			4,344			

【事業の概要】

地域のつながりの希薄化、親族の支援が受けづらい等の状況から、不安や負担を抱える産婦に対し出産後のケアを行い、安心して産み育てられる支援を行います。

大分県内の産科医療機関及び助産院に委託し、母親の心理的ケアや育児指導を宿泊型又はデイサービス型で実施します。

**⑤【新規】米山公園複合遊具設置事業****【都市整備課】**

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
14,000					10,500	

「みんなが子育てしたくなるまち」の一環として、米山公園に複合遊具を設置します。令和2年度より子育て世代など関係者の意見を計画に取り入れ設計施工を行い、令和3年夏に供用開始を計画しています。(2カ年事業 総事業費35,000千円)

主に3歳から6歳までの未就学児やそのきょうだいの遊びの場、保護者同士の交流の場を提供するほか、高齢者がストレッチ運動ができる健康器具などを配置し、幅広い世代に利用していただけるよう配慮します。



※写真はイメージです。実際に設置する遊具とは異なります。

「安心」で繋ぐ地域づくりとして、令和2年度はひきこもりの方への支援や、地域福祉活動支援等について、以下の事業に取り組みます。

①【新規】ひきこもりサポート事業

【社会福祉課】

(単位:千円)

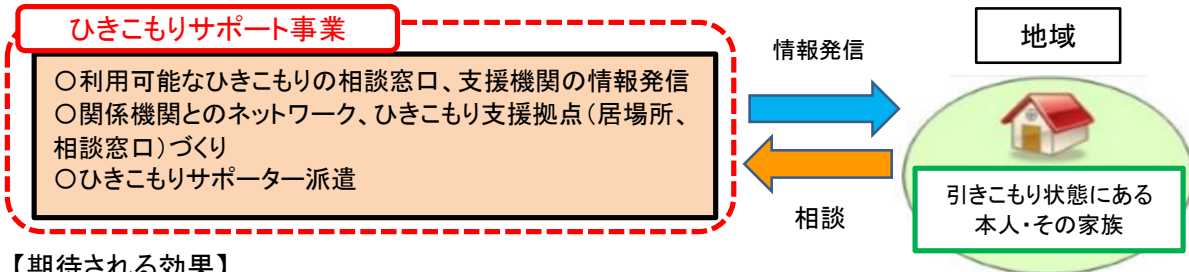
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
2,980		1,490				

【事業の概要】

ひきこもりの状態にある方やその家族に対し、総合相談窓口の設置やサロン等の居場所づくりを行い、ひきこもり支援拠点づくりに取り組みます。

【主な事業費】

委託料:2,980千円 (補助率:国庫支出金1/2)



【期待される効果】

相談窓口や支援拠点を設置することで、抱えている不安の早期解消を図ります。また、関係機関とのネットワークの構築やひきこもりサポーターの派遣により、社会とのつながりを支援します。

①地域力強化推進事業

【社会福祉課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
11,267		8,450				

【事業の概要】

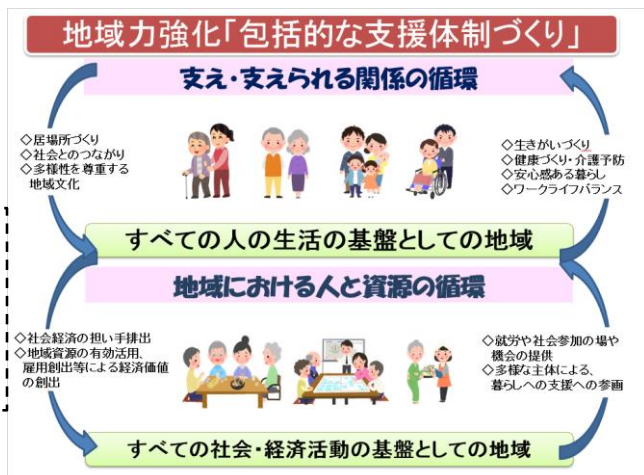
制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手・受け手」という関係を越えた総合的な「地域力」を強化し、地域住民同士が支え支えられる「循環型」の地域づくりを目指し、高齢者をはじめとする住民同士が行う地域福祉活動を支援します。

【主な事業費】

地域力強化事業委託料 11,267千円
(補助率:国庫支出金3/4)

<支援の例>

- ・寄り合いの場、見守り活動等の継続支援
- ・課題解決の場の提供や組織化支援
- ・地域福祉活動や組織化のための人材育成
- ・地域の拠点の発掘・整備 等



【期待される効果】

地域のネットワークづくりを行うことにより、共助の地域づくりの強化を行います。また、地域福祉を行う人材だけでなく、まちづくりに携わる人材など多様な人材による創出・発掘にも期待できます。

①テレワーク等推進事業

【地域振興・広聴課】

旧下毛地域を対象に移住施策を進めるにあたり、課題となっている仕事の確保についてサテライトオフィスやテレワークなどを推進します。

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
2,657						

【事業の概要】

総務省事業の地域力創造アドバイザーを招聘し、中津市テレワーク等推進会議を設置、行政関係部局に中津青年会議所等の外部団体を交え、中津市におけるテレワーク等の推進について戦略会議を行います。

また、アドバイザーによるセミナー等の実施により、働きたい市民向け及び働いてもらいたい事業者向けにテレワーク等の普及を図ります。

【主な事業費】

地域力創造アドバイザーの活用

委託料:1,980千円

旅費:677千円



【期待される効果】

働く場所を限定しない在宅勤務等の普及を図ることで、子の看護等による離職を防ぎ、子育て世代を中心に仕事の確保及び働き手の確保が可能となります。

②若年者就職支援事業

【商工振興課】

中小企業の若手人材確保の難しさ等の背景から、若年者の就職及び中小企業の若手人材確保を促進するため、ジョブカフェおおいのサテライト事業を県と連携して実施します。若年者に対してカウンセリングやセミナーの実施、企業の採用情報の提供などの就職支援サービスを提供します。

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
3,064						

【事業の概要】

●対象者:概ね40才未満の若年求職者(学生、生徒を含む)

<各種就職支援サービス>

- ①カウンセリング等の実施(就職後のフォローアップ含む)
- ②公共職業安定所との連携
- ③各種就職支援情報の提供
- ④各種セミナー参加者募集及びセミナー実施補助
- ⑤サテライト独自の就職支援セミナー等の企画、運営

【主な事業費】

委託料(相談員分):3,064千円



(就職支援の様子)

【期待される効果】

若年求職者の市内企業への就職を促進し、企業の人材確保を図ります。

一次産業における担い手育成と収益性向上のため、農林水産業従事者に対する支援として令和2年度は以下の事業に取り組みます。

①【新規】農業サポーター人材バンク事業

【農政振興課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
2,400				1,200		

【事業の概要】

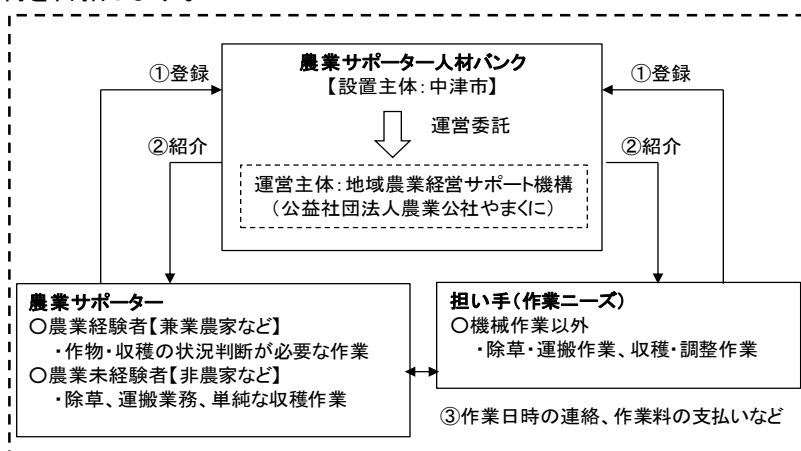
農業における労働力不足を補うため、地域農業経営サポート機構(公益社団法人農業公社やまくに)が運営主体となり、農業未経験の方々にも農業サポーターへ登録していただき、農家からの幅広い作業ニーズに対応できる体制を目指します。

【主な事業費】

・運営委託料 2,400千円
(補助率:県支出金1/2)

【期待される効果】

農業サポーター人材バンクにより、農業の労働力不足の解消に繋がることが期待されます。



②【新規】水田畑地化露地野菜産地形成促進事業

【農政振興課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
4,500				3,000		

【事業の概要】

水田の畑地化を進め、生産性と収益の向上を目指すため、機械化、大規模生産可能な露地野菜への転換に必要な生産費を支援します。

<対象者>

水田にキャベツを概ね2.5ha以上作付ける農業者
※必要な苗代、肥料、資材、農機レンタル代等の生産費を補助する

【推進ターゲット】水稻栽培農家

【推進品目】キャベツ、さといも、にんにく、たまねぎ

※市場ニーズが高く、機械化による大規模生産と県域出荷が可能な品目



(一面のキャベツ畑)

【主な事業費】

・大規模作付転換支援事業補助金 4,500千円
(補助対象6,000千円×補助率3/4[県1/2、市1/4])

【期待される効果】

水田が畑地化されることで機械化、大規模生産可能な露地野菜への転換に繋がりを、生産性と収益の向上が期待されます。

③【新規】畜産経営体衛生管理体制強化事業

【農政振興課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
2,000						

【事業の概要】

畜産農家の経営安定を目的に、畜産(肉用牛〔繁殖・肥育〕・酪農・養豚・養鶏)農家の家畜伝染病予防のための施設整備を支援します。(市単独補助事業)

<対象者>

畜産(肉用牛〔繁殖・肥育〕・酪農・養豚・養鶏)農家



(隔離牛舎)

【主な事業費】

・畜産経営体衛生管理体制強化事業補助金 2,000千円

【期待される効果】

徹底した衛生管理により、家畜伝染病の予防対策強化が期待されます。



(車両消毒装置)



(防虫・防獣ネット)

④【拡充】林業振興事業(森林環境譲与税)

【林業水産課】

単位(千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
37,124						37,124

令和元年度から森林の有する公益的機能の維持増進や経営放棄林の解消を目的に森林環境譲与税が創設されました。市では、森林環境譲与税を活用し、森林の整備や人材の確保及び育成、普及啓発、木材の利用促進等の事業に取り組んでいきます。

【事業の概要】

経営放棄林の解消を目的に、森林の現況調査や作業道の開設・補修、間伐等の森林整備を進めます。また、就業者の林業技術の向上や安全を確保する防護服、作業の省力化を図る林業機械の導入等に対し支援を行ないます。

【主な事業費】

- ・森林調査委託料 9,500千円
- ・森林整備委託料 5,230千円
- ・森林作業道整備事業補助金 8,000千円
- ・林業省力対策事業補助金 2,500千円
- ・林業担い手育成事業補助金 1,524千円



(研修の様子)

【期待される効果】

森林の整備を進める事により、水源涵養や土砂流出防備など森林の持つ公益的機能の維持増進が図れます。また、林業研修の充実や就業環境の改善を進める事で、就業者の確保・育成を図ります。

中津市では、市内全域を流れる山国川の上下流域が一体となった観光振興を推進しています。令和2年度は東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせたインバウンド対策を強化するとともに、メイプル耶馬サイクリングロード等を活用した体験型観光を推進します。

①メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業

【耶馬溪観光室】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
6,472						5,331

【事業の概要】

近年のサイクリング人気により、「メイプル耶馬サイクリングロード」には毎年国内外から多くの利用者が訪れ、その数は年々増加しています。より安全・安心・快適なサイクリングコースとして充実を図るため、旧耶馬溪鉄道の面影を再現する看板整備や周辺観光地から相互の利用を促すロードマップを作成します。また、サイクリングロードの魅力を体験して、ファンになってもらうためにサイクリングイベントを開催します。

【主な事業費】

- ・台中等交流関係費 378千円
- ・パンフレット制作事業委託料 3,713千円
- ・イベント事業委託料 864千円



(イベントの様子)

(ロードマップ)

【期待される効果】

イベント開催によってメイプル耶馬サイクリングロードの認知度を向上させるとともに、看板整備やロードマップの作成・配布によってサイクリングロード及び周辺地域の回遊性を高めることで、観光による地域経済の活性化につながります。

②インバウンド対策事業

【観光推進課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
6,353						45

【事業の概要】

訪日外国人の誘客を推進するため、中津の魅力を集めた動画を作成し、海外で発信力が高いフェイスブックやInstagram、ブログ等といったSNSでの広告を展開します。また、観光パンフレットの多言語化を図り、中津を訪れる外国人観光客に観光情報を提供します。さらに地域通訳案内士養成講座を開催し、訪日外国人に対して英語による市内現地ガイドを行い、受入態勢の充実に努めます。

【主な事業費】

- ・地域通訳案内士養成講座 427千円
- ・印刷製本費 3,312千円
- ・広告料 1,540千円



(講座の様子)



【期待される効果】

中津市の情報発信や受入態勢の充実に図ることにより、訪日外国人の個人旅行客の増加が期待され、地域経済の活性化にも寄与します。

「公民連携・政策連携によるにぎわいづくり」として、令和2年度は以下の事業に取り組みます。

①【新規】立地適正化計画策定事業 【まちづくり推進室】

(単位:千円)

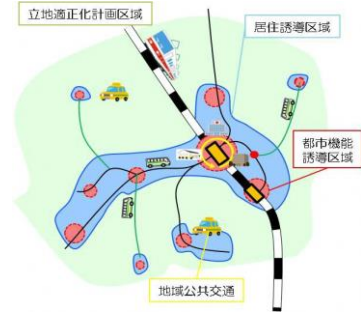
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
14,668		7,300				7,368

【事業の概要】

現在、国は今後のまちづくりについて、高齢化と人口減少を背景に、都市全体の構造を見直し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を核とする立地適正化計画の策定を推進しています。

中津市においても今後、高齢化と人口減少が進行していくことが予想されており、持続可能な都市構造の構築が求められているところです。

こうした背景をもとに、拠点となるエリア(居住誘導区域)を決め、各エリアの特性に合わせて誘導すべき施設(都市機能誘導区域・施設)を定め、拠点間を公共交通ネットワークで結ぶなどして特色あるまちづくりを進めるために、立地適正化計画を策定します。



【主な事業費】

- 立地適正化計画策定支援委託料: 14,670千円
(補助率: 国庫支出金 1/2)

※市の現状と将来動向や都市構造の課題等を分析・整理し、都市計画道路等の都市構造の骨格も含めた都市計画について検討

(コンパクトシティのイメージ)

【期待される効果】

コンパクトシティの実現により、公共施設の維持管理費の削減、生活利便性の維持・向上が期待されます。

②商店街にぎわいづくり支援事業補助金 【商工振興課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,500						1,500

【事業の概要】

中心市街地商店街の魅力向上を図るため、商店街自らが考え実践する、活性化の取組(イベント)を支援します。

- ・対象者: 商店街振興組合等、中津商工会議所
- ・対象事業: 商店街振興組合等が実施する新たなイベント事業
(中津商工会議所が事務局となるものを含む)
当該商店街振興組合等の過半数以上の会員が参加する事業
- ・補助率等: 補助率1/2 補助限度額300千円



(イベントの様子)

【期待される効果】

賑わいの創出による商店街の魅力の増加、来街者の増加、個店の売上向上を図ります。

平成30年に開催された「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」を機に育まれた特徴ある活動をレガシーとして継承するほか、歴史博物館では全国的なイベントを開催し芸術及び文化による地域振興を図ります。またオリンピック・パラリンピック関連の事業を実施し、市民の機運醸成を図ります。

①【新規】国民文化祭レガシー事業

【社会教育課、社会福祉課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
3,739		92	1,820			1,827

(中津市歴史博物館管理事業費の一部を含む)

【事業の概要】

令和2年10月から11月にかけて、木村記念美術館、歴史博物館周辺で芸術文化に触れることのできるアートイベントを開催するほか、イオンモール三光にて障がい者アート展を開催します。

＜開催イベント＞

- ・木村記念美術館、歴史博物館合同企画展
- ・ナイトミュージアム
- ・参加型アートイベント
- ・カフェ等での絵画展示
- ・障がい者アート展



(アートイベント)



(水灯り)

【期待される効果】

広く芸術文化に触れることのできる機会を創出することで、誰もが芸術文化に親しみ、次代を担う人材が育つことを目指します。また、アートイベントによる誘客を通じて、カルチャーツーリズムによる観光振興・地域活性化につながることを期待されます。

②「発掘された日本列島展」開催

【社会教育課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
8,564						990

【事業の概要】

日本全国で発掘され近年話題となった埋蔵文化財を紹介する、文化庁主催の全国巡回展「発掘された日本列島展」を中津市歴史博物館で開催します。

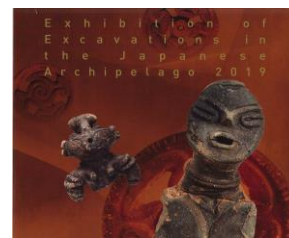
毎年全国5カ所を巡回しており、2020年の展示会場は、西日本では中津市歴史博物館が唯一の会場となっています。展示期間は令和3年1月16日～令和3年2月21日を予定しており、常設展示を全て入れ替え、全館を使って展示する予定です。

【期待される効果】

日本全国から埋蔵文化財の優品が集る展示で、縄文土器・弥生土器・埴輪など、教科書で学ぶ基本的な出土品を一度に観覧することができます。また、全国的に有名な展示を西日本唯一の会場として開催することができ、告知ポスターは文化庁から全国に配布されます。新設の中津市歴史博物館の知名度のアップと信頼度のアップを図ります。



(展示イメージ)



(2019年開催時のポスター)

③東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致事業

【体育・給食課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
7,877						

【事業の概要】

中津市は東京オリンピック・パラリンピックにおいて、キャンプ誘致のためマレーシアを相手国にホストタウンおよび共生社会ホストタウンの登録を行っています。オリンピックイヤーである令和2年度は、事前キャンプ開催の最終調整を行い、市民の機運醸成のためのイベント等を行います。

また、大会終了後もレガシーとして、相手国との相互交流やユニバーサルデザインの街づくり、心のバリアフリーに向けた取組を行います。

<主な活動内容>

- ①マレーシアの東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致及び実施
- ②キャンプ開催時の市民向け併催イベントの実施
- ③聖火リレーの実施および広報活動
- ④オリンピック、パラリンピアンによるスポーツ教室の開催 ほか



(選手と小学生との交流)



(バドミントン教室)



(イベントのイメージ)



(パラ陸上教室)

【期待される効果】

市民へのパラスポーツの普及、障がいに対する理解を深めます。また、トップアスリートによる市民交流事業を実施するなど、スポーツに関する市民の関心度向上や、ジュニア世代の育成、国際交流機会の創出を図ります。

④【新規】パラリンピック採火イベント

【社会福祉課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
150				75		

【事業の概要】

東京2020パラリンピック競技大会の開催に当たり、市民の関心・理解を高め、大会の機運醸成を図るため、障がい者による採火イベントを開催します。

<採火式>

日時:8月17日(月) 10時~(予定)

場所:大貞総合運動公園

※中津市で採火した火は、県下の各市町村で採火した火と一緒に別府の「太陽の家」に集められ、東京都に送られます。



(採火する火起こしの様子)

【期待される効果】

東京パラリンピックの開催に向け、機運を高めるとともに、市民へのパラスポーツの普及、障がいに対する理解を深めます。

「自立する力を育み、社会で活躍できる子どもの育成」をめざし、知・徳・体をバランスよく育むとともに、子どもたちの将来の夢や自己実現に向けて欠かすことのできない学力向上に向けて、教育内容・教育環境の充実、教職員の指導力向上を図っています。

令和2年度は、その前提となる教員の働き方改革を進めるとともに、学力向上と平行して校外活動の支援やふるさと学習にも注力します。

①【新規】タイムレコーダー設置事業 【学校教育課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
6,078						

【事業の概要】

教職員の働き方改革に伴う「文科省ガイドライン」に基づき、教職員の時間外勤務状況を客観的データで把握するため、市内小学校、中学校及び幼稚園にタイムレコーダーを設置します。教職員の勤務時間の管理をより的確に行い、教職員の超過勤務の削減を目指します。

②【新規】校外活動支援事業 【学校教育課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
6,911						4,266

【事業の概要】

現在、旧中津地区小学校において、社会見学等の際に借りるバスの利用料金については、各学校において参加児童数で人数割し個人負担をしており、各学校間や学年間で不均衡が生じています。今回、バスの借上料を予算化し、児童数によらず、一定の参加費を保護者の方から徴収し、保護者負担の軽減及び均衡を図ります。

<対象となる校外活動>

- ・4年生社会見学
- ・5年生社会見学
- ・5年生教育キャンプ



③【拡充】部活動指導専門員配置事業 【学校教育課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
4,592				1,792		

【事業の概要】

大分県が実施する「部活動指導専門員活用事業」により部活動指導専門員を配置します。。教員と連携した指導や部活動指導専門員による単独指導・大会等への単独引率が可能となり、部活動の充実、活性化及び教職員の部活動における負担軽減を図ります。

④【拡充】スクールサポートスタッフ配置事業 【学校教育課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
6,455				5,938		

【事業の概要】

大分県が実施する「教員業務サポートスタッフ活用事業」によりスクールサポートスタッフを配置し教員の負担軽減を図ることで、児童生徒等の指導や教材研究等の教員でなければならない業務に注力できる体制を整備します。

⑤【新規】社会科副読本「ふるさと学習教材(仮名)」作成事業

【社会教育課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,265		579				

【事業の概要】

子どもたちがふるさと中津への興味や関心を深めるため、小学校における社会科を中心とした学習の中で日常的に活用できる社会科副読本「ふるさと学習教材(仮称)」を作成し、小学校3~6年生に配布します。(作成協力:中津市内小学校社会科部会)

また、なかつ学びんびっく検定本としても併用し、検定試験(対象者:市内小学校4~6年生)を実施することにより、学習した内容の定着を図ります。

【主な事業費】

- ・印刷製本費 1,158千円
- ・記念品 107千円
- 参加賞
- 市長表彰副賞
- 子ども中津検定ピンバッジ



(ふるさと学習の様子)



(なかつ学びんびっく)

⑥【新規】福澤諭吉検定事業

【社会教育課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
553		262				

【事業の概要】

福澤諭吉に対する興味関心を高めるため、中学生向けの福澤諭吉検定公式ガイドブック(仮称)を作成し、中学1年生に配布します。(作成協力:慶應義塾福澤研究センター、公益財団法人福澤旧邸保存会)

また、検定試験(対象者は市内中学校1・2年生)を実施し、福澤諭吉の生涯や偉業について主体的に学ぶことによって、これまで以上にふるさとの偉人として福澤諭吉への親しみや誇りを持つ心を育みます。

【主な事業費】

- ・印刷製本費 525千円
- ・記念品 28千円
- 参加賞
- 市長表彰副賞



(諭吉検定のイメージ)



(ガイドブック掲載予定の1ページ)

【期待される効果】

子どもたちが、ふるさと中津について深く学ぶことにより、中津のよさに気づき、ふるさとを大切にしようとする心と誇りに思う気持ちが育まれ、生涯を通して、ふるさと中津のことを愛し続ける心が育成されることが期待されます。

地域で活躍する人材の育成として、中津南高校耶馬溪校に通う生徒の通学費の一部を補助するほか、令和元年度に開館した新中津市学校での市民向け講座等を開催します。

①【新規】中津南高校耶馬溪校通学支援補助金

【教育総務課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
4,752						

【事業の概要】

大分県立中津南高等学校耶馬溪校は、旧下毛地域の唯一の高校であり、地域にとっても大切な学校です。また、少人数教育や特色ある教育を行っていること、卒業生の多くは市内に就職しており地域の産業を支える貴重な人材となっていることから、中津市にとっても必要な学校です。

近年、生徒数が定員を下回っており、この状況が続けば存続が危惧されることから、バス通学に要する経費の一部(自己負担額8万円を控除した経費)を補助し、生徒の確保を図ります。

【主な事業費】

- ・補助金 4,752千円
(自己負担額8万円を控除した経費について補助を行う)

【期待される効果】

耶馬溪校存続のための支援として通学に要する経費負担を軽減することにより、耶馬溪校の生徒数の確保を図ります。



(学校案内)

②市民講座開催・小幡篤次郎調査研究

【社会教育課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
3,058			445			

【事業の概要】

昨年度から開催している慶應義塾教授等による市民講座に加え、高校生向け講座を開催します。また、中津の近代をリードした小幡篤次郎について、基礎資料となる著作集・書簡集等が作られていないため、令和2年度に慶應義塾で行われる小幡の著作集編纂事業に参画します。

【主な事業費】

- ・市民講座、高校生向け講座開催 890千円
- ・小幡篤次郎調査研究 1,054千円
- ・慶應義塾資料移管 1,114千円



(市民向け講座の様子)

【期待される効果】

高校生向け講座を開催することにより、進路選択や大学で学ぶこと、社会人として求められること等を学ぶ機会を提供します。また、小幡篤次郎の調査研究を進めることにより、中津の偉人として、伝記やマンガでの紹介や、展示公開等を行うことで、文化・教育・観光面で市民還元につなげます。

6K(共生、きれい、快適、教育、継承、協働)を基にした、「環境共生都市なかつ」の実現のため、ごみの減量・資源化等により、循環型社会の構築を図ります。新たに、ペットボトルの単独回収を実施し、リサイクル業者へ出荷することによって、燃焼処理で発生するCO2(温室効果ガス)を削減します。また、イベント開催時に分別ボックス等を配置した「エコステーション」の貸し出しを行い、ゴミのポイ捨て対策、環境への意識向上並びに意識改革を図ります。庁内の取り組みでは、議会にタブレット端末を導入し、関連資料のペーパーレス化を図り、使用する紙類の削減を図ります。

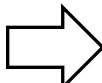
①【新規】ペットボトル単独回収事業 【清掃課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
183,518						

【事業の概要】

現在の「びん、缶、ペットボトル」の混合回収を令和2年8月より、「ペットボトル」と「びん・缶」に分別し、それぞれ決められた回収日に出していただきます。

○月2回の混合回収  ○旧中津地区:「ペットボトル」月2回 「びん・缶」月1回
○旧下毛地区:「ペットボトル」月1回 「びん・缶」月1回

【主な事業費】

一般廃棄物収集運搬業務委託料 183,518千円
(うちペットボトル単独回収委託料追加分 10,680千円)



【期待される効果】

単独回収による焼却量減少により、CO2(温暖化効果ガス)の削減が図られます。またペットボトルは、ごみではなく資源であることへの意識改革にもつながり、分別意識の向上につながります。

②【新規】エコステーション貸出事業 【清掃課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
602						

【事業の概要】

イベント開催時に主催者へ「エコステーション」等の貸し出しを行います。来場者が排出する「ごみ」をそれぞれが分別して持ってきてもらうシステムとなります。

【期待される効果】

地域周辺への環境を配慮したイベントとしていただき、来場者への環境意識の向上と「環境共生都市なかつ」をアピールする一役も期待しています。



(エコステーション)

③【新規】市議会ICT化推進事業 【議会事務局】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
4,312						792

【事業の概要】

議員、議会事務局にタブレット型端末(移动通信対応)を使用した議会会議システムの導入により、本会議及び委員会等で関連資料のペーパーレス化を行います。

【期待される効果】

市議会のICT化を推進し、議員に常時インターネット通信が可能なタブレット型端末を貸与することで、議会運営の効率化、関連資料のペーパーレス化、議員活動の高度化等が図られます。



①【新規】電子マネーでの公共料金支払

【会計課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
0						

【事業の概要】

中津市では、公共料金の新たな納付スキームを準備し市民サービスの向上を図るため、令和2年4月よりスマートフォンのアプリ「PayB」や「PayPay」を利用したキャッシュレス決済を開始します。アプリならいつでも手数料無料でスマートフォンから納付することが可能です。

※既存のコンビニ納付システムとバーコード付き納付書を利用するため、システム改修費用等の導入コストはかかりません。



【期待される効果】

公共料金の納付方法の多様化を行うことにより、市民サービスの向上が図られます。

②【新規】Net119システム整備事業

【消防本部総務課】

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
495						

【事業の概要】

中津市では、音声によらない緊急通報システム「Net119」を導入し、音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障がい等のある方が、消防本部への通報を円滑に行える体制を整備します。(事前登録が必要)

＜Net119による通報の流れ＞

- ①通報用Webサイトにアクセス
 - ②「救急」「火事」の別と、通報者の位置情報を入力
 - ③テキストチャットで詳細を確認
- ※GPS機能及びインターネット環境が必要



【期待される効果】

GPS機能を使用した緊急通報により、正確な火災等の災害場所を特定し迅速に出動することができます。また病気や怪我の場合、事前に登録したデータを元にかかりつけ病院や適切な病院を選定することができ、最適な対応をとることができます。

《MEMO》

A series of horizontal dashed lines for writing.